

海よりも深く

<今月の聖句> 「求めなさい、そうすれば、開かれる。」
(マタイによる福音書7章7節)

先日、帰り際の保護者の方と立ち話をしていたとき
ずいぶんのなが話に、横で待っていたお子さんが心配になり、ふと目をやると
よっ、よっ、と、小さい手で地面をあちこちと押さえている姿。やがて
「つかまえた！ ん？ なんだこれ？」とその子がつぶやく。見れば
黄緑色の茎の切れ端のような、2ミリほどの線が、指の周りを動いている。
「あ、カマキリだ！」
虫の中でも王者の風格をいただくカマキリ。それがたった2ミリとは？
でも、たしかに、カマキリの形をしている。そう、赤ちゃんカマキリ、です。
珍しそうに、幼い目で、じ～とながめている。
私も横でじ～と見とれていました。
こんなとき大人のへたな解説はいりません。ただ一緒に自然の魅力にひたる。
つくしで一番豊かな日常の風景です。

1月に逝かれた東京こども図書館の松岡享子さんがかつて「絵本の読み方で
気をつけることは？」と尋ねられたとき、次のように答えました。
「ぜひ、絵本を読むだけではなくて、子どもにいろんなことを
体験させてあげてください。物語を楽しむためには想像力が必要ですが、
想像力を養うのは、実体験です。本やテレビで語彙はたくさんもっていても、
その語に伴う実感がないと、言葉から想起されるイメージは薄っぺらなもの
になってしまいます。」

暑い、風の音、わあすすしい、いい香り、不思議なかたち、きれいな模様、
なんか気持ちいい、ふわふわ、鳥さんが呼んでる…
先ほど園庭をひと回りしたときの「体験」を試しに言葉にしてみました。
いや、本当の体験は、これらの言葉じゃとてもとても表しきれない。そんな豊
かな体験を、つくしの子どもたちは毎日毎日、何気ない日常の中で、いっぱい
感じているんだなあ。
毎月、誕生会で園長が語る聖書のお話、あんなに集中できるのも、あふれ
る想像力と、その想像を生み出す、海のように深い体験が小さな心にすでに宿
っているからなのでしょう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<花の日礼拝のご案内>

6月12日(日) あさ10時30分 だいが教会
おうちに咲く花をひとつずつ持ち寄り、礼拝堂を飾りましょう。
子どもやご家族と一緒に、楽しく明るい礼拝を